

健康で長生きしよう

7月に長男を出産するなど、ここ数年ライフイベントが続いている。終活という言葉には、まだ縁遠い年頃だ。

しかし、長男を出産してから、遅からず老後について意識するようになった。自営という仕事柄、収入が不安定であるため、早めに老後への備えを意識することが重要と考え、各種年金、共済等への加入を念入りに行った。

そのような中で先日、右胸にしこりを発見した。しこり＝乳がん＝死、と不覚にも考えた時に頭をよぎったのは、家族、特に1歳の長男の今後のことである。そして、老

後のために加入した年金や共済はどうなるのか等々思いを巡らせ、病院で検査を受けるまでの間は生きた心地がしなかった。

幸い、しこりは良性だったため、命に別条はなかったが、もしもの場合、老後のために加入した自

分の年金等がどうなるかまでよく確認しておくことが重要であると痛感した。また奨学金等の負債がある場合には負債も相続されるため、死亡時に免除になる性質のものか確認が必要である。そして、パートナーとこれら財産関係の情報を共有す

ることが重要である。その他、最近では死後離婚という言葉を目にするが、万が一自分が死亡した場合には、財産面のみならず、パートナーが自分の両親とどのような関係を築いてほしいかという話を話し合っておくことも重要であると思う。

もつとも、家族のためにも長生きした上で終活をすることが望ましいことは言うまでもない。そのためには定期的に検診に行くことが大切だ。特に産後女性は自分の健康が後回しになりがちである。

健康で長生きしよう
— かわいい怪獣の寝顔を見ながら、心に誓う。

(終活アドバイザー・
弁護士・関口久美子)

筆者たちの思い①

筆者は女性弁護士である。現在30代半ばである。一昨年の夏に同様に弁護士である夫と独立し、法律事務所を開設、昨年



イラスト/小村 隆一 SHIMOTSUKE GRAPHICS